

---

## 主演 成田凌/楽曲 フジファブリックによる ショートムービー「僕たちは今日、お別れします。」を Web 限定公開

---

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(以下キヤノン MJ)は、カメラカテゴリーの共通メッセージ「“This” is my life.」のコンセプトムービーとして、俳優の成田凌さん主演「僕たちは今日、お別れします。」を10月12日よりWeb限定で公開します。また、広く一般から大切な写真を募集する「“This” is my life. project」をスタートします。

“This” is my life.  
それは、私の人生そのもの。



### ■カメラカテゴリー共通メッセージ「“This” is my life.」のご案内

キヤノン MJ ではカメラカテゴリーの共通メッセージとして「“This” is my life.」を掲げています。

カメラで写真を撮ることやその被写体、撮った写真のシェアやアルバムへの保存など、写真にまつわるもの全てが、今や人々の日常、そして人生までも構成する大事な要素となっていると考えています。このことを多くの人たちに共感してもらいながら、写真を撮ることの大切さや楽しさを改めて感じてほしい、という考えからこの言葉が生まれました。

今後、このメッセージの考え方に基づいた施策を積極的に展開していきます。

<http://cweb.canon.jp/eos/special/thisismylife/index.html>

### ■成田凌さん主演 Web 限定ムービー「僕たちは今日、お別れします。」

本ムービーは「“This” is my life.」のコンセプトムービーとして、男女の別れの中にある「写真」の存在感にスポットを当てた動画です。主演に俳優の成田凌さん、ヒロイン役にモデルの藤野有理さんを迎え「自分の人生における大切なものは、いつも写真とともにある」というメッセージを込めたストーリーとなっています。

成田さんが別れ話の際に見せる悲しげな表情や、今日別れを迎えるふたりのリアルなやり取りなどが見どころとなっています。劇中に使用されている写真は、実際に成田さん自身がキヤノンの最新ミラーレスカメラ「EOS M100」を使用して撮影した写真です。成田さんの素顔が垣間見える2ショット写真などが多数登場しています。

また、楽曲には人気ロックバンド・フジファブリックが書き下ろした「かくれんぼ」を使用しています。儂げなメロディーが切ない動画の内容をより一層引き立てます。

■あなたにとっての大切な写真を募集「“This” is my life. project」

## “This” is my life. *project*

ムービーでは、成田凌さん演じる男性が写真を眺めながらつぶやく「彼女と過ごした日々は、僕の人生そのものだった。」というセリフによって、写真で残した時間の大切さと、彼にとっての「“This” is my life.」にスポットを当てています。

このように、一人ひとりにとって異なる「“This” is my life.」を表した写真を募集するプロジェクトが、「“This” is my life. project」です。広く一般の方々から思い入れのある写真とエピソードを集めます。被写体は家族や友人との写真、趣味やスポーツ、ペットなど、どんなものでも構いません。

応募いただいた写真は、今後「“This” is my life.」の広告の中での使用や、「“This” is my life.」スペシャルサイトでエピソードとともに紹介する予定です。

応募者の中から抽選で3名に、10月5日に発売したミラーレスカメラの新製品「EOS M100」をプレゼントします。

**募集期間：2017年10月12日（木）～11月30日（木）**

【ショートムービー「僕たちは今日、お別れします。」】 本編 10月12日 13時公開予定

<動画概要・キャプチャ>



「その頃の僕たちは、何故か会うたびにケンカになっていた」「理由は、多分僕が悪い」成田さんが演じる男性の物憂げな表情で動画は始まります。



場面が変わって喫茶店。  
男性「元気だった？」  
女性「うーん…普通だね。元気だった？」  
男性「普通だね…」  
と、苦笑いしながらの気まずい会話が展開される中、「僕たちは今日、お別れします」というタイトルバック。並んで歩くふたりの姿とともにフジファブリックの「かくれんぼ」が情緒的に流れ出します。



街をあてもなく歩く2人。「なんか飲む？」「いや、大丈夫」といった、何気ないやり取りも、今日この2人が別れると思うと、どこか切なく聞こえてきます。  
「巻き戻せない時間の中に、離れていく彼女の姿を探していた。」  
「僕は甘えていたんだと思う。本当の気持ちを伝えようともせず、彼女を深く傷つける言葉だけを探していた」という男性の心情とともに、男性の部屋にシーンは切り替わります。





「傷つき沈んでいく彼女に手を差し伸べもせず、ぼんやり眺めていた。愛されていくから傷つくのだ。そんな都合のいい解釈をして」「むしろ僕は、彼女が傷つくことを望んでいたのかもしれない。それでも許されると、ただ甘えていたのだ」楽しかった頃の写真を見ながら、自宅での食事や、動物園のデートなど、彼女と過ごした色とりどりの日々に想いを馳せる男性。

「言っちゃいけないことはたくさん言ったのに、言わなきゃいけないことは何も言えなかった」誰にでもこのような経験はあるのではないのでしょうか。

男性の過去を悔やむ言葉とともに、時間が巻き戻るような描写が入ります。



「じゃあ行くね…元気でね」

別れを告げる女性に、少し悲しそうな顔をする男性。

「本当はずっと分かっていたんだ。彼女と過ごした日々は…僕の人生そのものだってこと」やっと大切なことに気付いた男性が、去っていく女性に「ねえ」と声をかけるところで、ショートムービーは幕を閉じます。

## ■成田凌さん独占インタビュー

本動画で主演を演じた成田凌さんに、今回の撮影にあたり、難しかった部分や、印象深いシーンなどについてインタビューしました。

### —撮影してみていかがでしたか。

撮影は、初対面の女性と急に別れるというシーンから始まる設定で非常に難しかったです。その中で、ほとんどアドリブで進めていったのですが、冒頭の「僕は甘えていたんだと思う」というナレーションを読んで、女性に甘えるタイプの方は、待つ感じなんじゃないかと思い、撮影中も彼女役の方に、会話の切り出しも含めて預ける形で進めました。見ている方にとって、敵に見えるというか、こういう人いそうだなと思ってもらえるようにリアルさを求めたつもりです。このあたりは、監督と話をしながら一緒にゆっくり作っていききましたね。

### —デートシーンはいかがでしたか。

普段なかなか遊園地に行ったり盆栽を見たりというようなデートはできないので、純粹にとっても楽しかったです。そのデートシーン中に EOS M100 で撮影したのですが、こんなにキレイなのかとびっくりしました。特に目の前にきれいな女性もいるので、楽しくなってたくさん撮影してしまいました。とても綺麗に撮れるカメラなので、ぜひ皆さんにも使ってもらえたらと思っています。

### —2人の過去を写真で振り返る描写がありますが…

最近、自分でも写真を紙にしなくてはと思ったんです。お正月に昔の写真を見返したのですが、とても大事だなと改めて思いました。小さい頃の兄の写真や、結婚前の両親の写真を見て、家族の軌跡を感じて非常に感慨深かったです。以前使っていた携帯をたんすの奥にしまっていて、そこに何千枚と写真が入っているので、近々プリントアウトしたいなと思っています。

### —最後に一言お願いします。

普通別れというとマイナスなイメージがあると思いますが、それを綺麗に映し出している動画になっていると思います。キャノンさんならではの映像の美しさを感じていただけるのではないのでしょうか。

## 成田凌プロフィール

出身：埼玉県

誕生日：1993年11月22日生まれ

身長：181cm

体重：60kg

サイズ：B80 W66 H90

2013年より雑誌「MEN's Non-No」専属モデルとしてデビュー

出演作品にTBS「逃げるは恥だが役に立つ」、CX「人は見た目が100パーセント」、「コード・ブルー-ドクターヘリ緊急救命-」がある。





## ■フジファブリックの書き下ろし楽曲「かくれんぼ」に込められた思い

主題歌を歌っていただいたフジファブリックの皆さんに、曲に込めた思いについて、コメントをいただきました。

「日々の生活の中には、今まで知らなかった感情や、隠れていた気持ちがあると思います。自分自身にもそうだし、相手に対してもそう。それに気づいた時、人はひとつ大きくなれるの  
でしょう。弱さを認める事は、強さであるように。  
「かくれんぼ」という曲によって、そんな心に光が照らされる事を、願っております。」

## フジファブリックプロフィール

2000年、志村正彦を中心に結成。2009年、志村が急逝し、2011年夏より山内総一郎（Vo/Gt.）、金澤ダイスケ（Key）、加藤慎一（Ba）の新体制で本格始動。

叙情性と普遍性と変態性が見事に一体化した、シーン屈指の個性派ロックバンド。

「銀河」、「茜色の夕日」、「若者のすべて」などの代表曲を送り出し、2010年にリリースしたアルバム『MUSIC』収録曲「夜明けのBEAT」が「モテキ」TVドラマ版（2010年）主題歌、映画版（2011年）オープニングテーマとして連続起用された。

更には「つり球」「宇宙兄弟」「銀の匙 Silver Spoon」「アオハライド」「マギ シンドバッドの冒険」と数多くのアニメ主題歌も担当。今年2月にリリースしたシングル「カンヌの休日 Feat. 山田孝之」は俳優・山田孝之氏がボーカルで参加し、疾走感に溢れ力強い印象的なサウンドとインパクトのある歌詞が話題になった。11月には東京と大阪で「フジファブリック プレミアムアコースティックライブ "FABRIC THEATER 2"」、2018年2月からは全国ツアー「フジファブリック LIVE TOUR 2018 "帰ってきた!!三日月 ADVENTURE"」を開催する。



## ■監督コメント

本動画を監督した山田智和監督に、撮影技法や、撮影時に注力したところなどについてインタビューしました。

### 一撮影を終えて

街の中に溢れている感情、普遍的な青春の追憶を求めて、成田さんはじめスタッフ皆で東京の下町を歩きました。

お二人には完全に決まった台本を演じて貰うのではなく、光を求めて歩いて行く先に、物語を託しました。

### 一撮影技法について

今回撮影ではキヤノンの EOS C700 を使用させて頂きました。アドリブの演技を撮影するために会話のシーンはマルチカムで撮影しております。また EOS C700 はハイスピードも撮れるので、表現の幅が広がりました。

### 一撮影で特に注力した箇所・みどころ、特殊効果) など

常々"生きている人"を撮りたいと思っています。実際の日常会話は無言があったり、相手の答えを変に予測して余計な事を言ってしまうたり、うまく行かない事の方が多いです。街に溢れている誰かの想いと重なって、光の先にある彼らの未来と一緒に想像して貰えたら幸いです。